

市議会役員が決定

議長は木谷敏勝さん、副議長は浅田 徹さん

11月16日、市議会臨時会が開催され、議会議長が決まりました。

議長に木谷敏勝さん、副議長に浅田 徹さん、議会議長の監査委員に竹中 理さんがそれぞれ選ばれました。  
(以下、敬省略)



監査委員  
竹中 理



副議長  
浅田 徹



議長  
木谷敏勝

なお、各委員会の委員長(◎)、副委員長(○)は次のとおりです。

■常任委員会

▽総務委員会

◎村岡峰男

▽文教民生委員会

◎田中藤一郎

▽建設経済委員会

◎清水 寛

▽予算決算委員会

◎浅田 徹

◎田中藤一郎

■特別委員会

▽議会広報広聴特別委員会

◎芦田竹彦

▽交通網問題対策等調査特別委員会

◎上田伴子

▽防災対策調査特別委員会

◎岡本昭治

◎松井正志

■議会運営委員会

◎福田嗣久

◎西田 真

《問合せ》議会事務局 ☎ 23-11119

# 市政 ニュース

〈主な市政の動き〉

〔11月〕

- 15日・共感コミュニティ通貨「豊岡演劇祭応援コイン」運用開始
- 16日・市議会臨時会  
・2020「植村直己冒険賞」受賞者による府中小学校特別授業
- 17日・出石区長協議会デジタル研修会
- 21日・植村直己冒険館チャレンジ応援祭

〔12月〕

- 1日・除雪発隊式
- ・豊岡市地球温暖化対策推進本部の設置(第1回会議開催)
- 3日・市議会12月定例会(27日)
- ・中期市政経営方針の策定



※掲載している情報は編集時点(12月16日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

## 豊岡市地球温暖化対策

### 推進本部を設置

11月15日、市役所内に豊岡市地球温暖化対策推進本部を設置し、12月1日に、1回目の会議を開催しました。

この組織は、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、全庁的かつ横断的に脱炭素化に取り組むために設置しました。会議には、本部長である市長や本部長である市幹部職員が参加し、豊岡市再生可能エネルギー導入戦略(案)の中間報告を行い、策定に向け協議などを行いました。

今後、職員一人一人が地球温暖化対策を自分ごととして考え、市役所が率先して行動し、市民や事業者の自主的で積極的な脱炭素化の取組みを促していきます。

《問合せ》生活環境課 ☎21-9136



▲第1回本部会議で関貴市長は「市民の皆さんと脱炭素化に取り組んでいく内容を検討していきたい」と話しました(庁議室)

## 出石地域の区長を対象に

### デジタル研修会を開催

11月17日、出石区長協議会がデジタル研修会を開催し、25人の区長が参加しました。

研修会では、グーグルマップでストーリービューや360度ビューの体験、簡易ゴーグルとスマートフォンを使ってVR体験、モデル地域として、同協議会で実証実験中の道路修繕等報告アプリ「Toyotoyo区長」の操作体験などを行いました。

副会長の深田 勇さんは「今はデジタルとこれまで通りのやり方の過渡期。デジタル技術を積極的に活用し、地域の人が住みやすく、ここに住んで良かったと思ってもらえる地域づくりをすることが大切だと思います」と話していました。

《問合せ》出石振興局地域振興課

☎21-9025



▲リモート通信で遠く離れた千葉県四街道市を市外視察する区長の皆さん(出石庁舎 会議室)

## 豊岡演劇祭実行委員会が

### 文化ツーリズム賞を受賞

豊岡演劇祭実行委員会による「豊岡演劇祭を契機とした文化観光推進事業」が、スポーツ庁、文化庁および観光庁が連携して実施した「スポーツ文化ツーリズムアワード2021」において、文化ツーリズム賞を受賞しました。

豊岡演劇祭は、単に市全域で演劇公演を行うだけでなく、地域の課題解決に向けた新たなサービスの実証実験を行うなど「まちづくりと連動した演劇祭」としてさまざまな取組みを進めています。

今回の受賞では、文化的テーマを地方の都市がコンセプトを持って取り組んだこと、また、豊岡演劇祭2020の実績や実行委員会の運営体制についても高い評価を受けました。

国からも注目されているこの取組みを、市民の皆さんと一緒に進めていきます。

《問合せ》大交流課 ☎21-9081



▲賞状を手にし、関貴市長に受賞の報告をする演劇祭実行委員会の高宮会長(左)